

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市芦の口児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 15,357人(前年度比 141.6%) ・令和3年度 10,847人 ・令和2年度 9,945人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 35,362千円 (31,778千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「児童厚生員の倫理コンプライアンス」を整備し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。また、おやつやのびのびの食の仕方を工夫することで、子ども自身が生活を組み立てたり、相手の意見を尊重する等社会性を育てるとともに居室の有効活用を図ることで子どもの生活が豊かになるよう努めた。	20/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>令和4年度は「保護者支援」をテーマに児童館・児童クラブ運営に取り組みました。</p> <p>■児童健全育成事業 年度後半は、小中高生の利用が可能になり前年度より利用者が多くなりました。特に、小学4年生以上で登録制で行う「こどもスタッフ」は月に2回児童館で使う遊具を作ったり、下学年の子どもたちとゲームをしたり、じどうかんまつりのコーナーを運営するなど積極的な活動を行い一人一人活躍できる機会を設けました。また、月1回の「やってみよう」では火起こし体験や水鉄砲づくり等挑戦・体験する活動が好評でした。</p> <p>■子育て支援事業 助産師さんが個別で育児相談を受ける「ことり一む」ではそれぞれの相談にのりながら、日々子育てに励んでいる保護者に寄り添いながら励ましてきました。また、月に1～2回の乳幼児親子対象の行事は参加組数を決め予約制で行いました。また、保護者支援の一環としての「ゆきちゃんとヨガタイム」は子育て中の方がリフレッシュして子育てに向かう時間として大変好評でした。</p> <p>■地域交流推進事業 子育て支援クラブ「あしっこ」は行事を児童館と共催したり「野菜・花そだて隊」を毎週実施し生育と収穫を一緒に楽しんだり、「ヨガ」では見守り託児を行うなど、児童館を利用する方々と積極的に交流していただきました。また、地域の放課後デイサービスの利用者の方々に「あそびうたコンサート」に招待したり、地域のバイオリニストの方のコンサートを企画するなど広く交流をはかりました。</p> <p>■放課後健全育成事業 昨年度に続き長期休業日に上学年は小学校の教室や校庭を借用し密をさけるための協力をいただきました。また、児童理解を深めるため「個人記録」の作成、児童と職員その他、保護者と保護者 保護者と職員 小学校と児童館がつながる取り組みとして「保護者面談」「親子レクリエーション」「担任面談」を行いました。今後も地域と連携した運営を行います。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、企画行事「やってみよう」をバルーンアート・バスボム作り・ウクレレをひいてみよう・iPadでのストップモーションを作ろう等多様な内容で定期的に開催し、子ども達の興味関心を広げる貴重な体験の機会を提供して、子ども達と共に保護者からも好評を得た。令和4年度は、子ども達が興味関心を持った時・やりたい時にできるよう、「花育て隊」を当日の申し込み制で実施した。申し込みがない時にも子育て支援クラブの方の協力のもと開催して、活動への興味関心の育ちを促している。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、ぐりんぴーサロンで実施した「ゆきちゃんのヨガタイム」に参加した保護者から、継続の要望を受け、ヨガタイムを定例行事として実施した。子育て支援クラブの託児の協力を得て、ヨガの後に保護者のおしゃべりタイムを設け、保護者の情報交換やリフレッシュの場を提供し好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においてはフェイスブックへの児童館便りの掲載、学区内全町内会回覧、小学校を通して全戸配布、中学校への各クラス掲示分を配布して児童館事業の認知向上に努めている。「ことりルーム」「ゆきちゃんのヨガタイム」「バイオリンの音色を楽しもう」等、地域の方の協力体制のもと充実した行事を展開しており、乳幼児親子や子ども達が地域と関わりながら育つ環境作りに積極的に取り組んでいる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、おやつ時間を午後の2時間に設定して、自分で時間を決めて食べることが出来る環境作りを行っている。おやつルームを利用する時間と人数を予約制にすることで、子ども同士で調整し合いながら、子ども達自身で放課後の自分の生活を組み立てる機会となり、自主性や社会性が育っている。おやつ以外でも職員が常時おやつコーナーにいて、おしゃべりしたりホットしたりできる場として利用する子も多い。そこから得た情報は職員で共有して支援につなげ、子ども達が安心して過ごせる要因の一つともなっている。児童クラブの児童が楽しく過ごしていることで自由来館児も増加しており、子ども達が自主的に生活したり安心して過ごせる環境作りに努めている点が評価できる。</p>	S

#### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課